

## 第3節 Web サイト・SNS の子育て利用

母親は、子育てのために Web サイト・SNS を消極的に利用していた。  
Web サイト・SNS・アプリを、目的に応じ使い分け、実際の育児に役立てている。

第3節では、保護者が子育てに、Web サイト・SNS（企業団体などの情報サイト、個人のサイトやブログ、掲示板、mixi や Facebook などのコミュニティサイト・SNS、Twitter、LINE などのインスタントメッセージ）をどのように利用しているか、6つの行動パターン（情報収集、情報交換、情報発信、定期閲覧、グッズ購入、地域外の仲間作り）から分析する。加えて、実際に子育てで利用している Web サイト、SNS、アプリ・ソフトの具体例から傾向を検討する。

### ● Web サイトや SNS を消極的利用

表3-3-1 では、情報収集として「知りたいことについて、検索するなど、情報収集をしている」、情報交換として「子育て情報を交換している」、情報発信として「自分の活動を発信したりコメントを書き込んだりしている」、定期閲覧として「情報を定期的に見ている」、グッズ購入として「子育て関連のものを購入している」、地域以外の仲間作りとして「地域でのつながりとは異なる子育て仲間を作っている」場合、どの Web サイトや SNS を利用するかを複数回答でたずねたものである。

なお 2017 年調査は、2013 年の質問項目の縦軸と横軸を反転させてたずねていたため、経年比較は控える。

情報収集では「情報サイト（28.8%）」、情報交換では「インスタントメッセージ（8.9%）」、情報発信では「コミュニティサイト、SNS（9.9%）」、定期閲覧では「情報サ

イト（14.6%）」「コミュニティサイト、SNS（14.6%）」、グッズ購入には「情報サイト（5.7%）」、地域外の仲間作りでは「インスタントメッセージ（3.1%）」がもっとも利用されていた。しかし、いずれも使わない保護者が多数派であり、Web サイト・SNS の子育て利用は積極的ではない。

### ● スマートフォン・タブレット端末のカメラ、保護者記念利用

表3-3-2 では、保護者がスマートフォンやタブレット端末のカメラ機能を利用する目的について、「何らかの記念撮影」「子どもが制作した絵や作品等の撮影」「逆上がりのシーンなど子どもの動画」「その他」「使っていない」の5選択肢から複数回答で、保護者が撮影する場合と子どもが撮影する場合でたずねたものである。

子どもの利用が少なかった理由としては、言語・認知・身体的発達が途上の乳幼児も調査対象に含まれるため、子どもが明確な目的をもって自ら撮影する機会は必然的に制限されていたこと、保護者が子どもの利用意図をくみ取るのは困難であったことが考えられる。

保護者が撮影する場合は、「何らかの記念撮影」がもっとも多く（89.6%）、「逆上がりのシーンなど子どもの動画（59.8%）」と「子どもが制作した絵や作品等の撮影（53.7%）」が続く。いずれも子どもの成長を記録するために利用していると思われる。

表3-3-1 Web サイト・SNS の子育て利用（2017年）

	情報サイト (企業や団体など)	個人のサイト やブログ	掲示板	コミュニティ サイト、SNS	Twitter	インスタント メッセージ
情報収集	28.8	19.2	13.5	12.7	6.2	7.7
情報交換	2.1	1.6	1.0	4.4	1.6	8.9
情報発信	1.8	3.7	1.2	9.9	3.9	6.6
定期閲覧	14.6	13.5	6.4	14.6	6.0	8.9
グッズ購入	5.7	1.7	1.5	1.7	1.1	1.6
地域外仲間	0.9	0.7	0.3	2.2	0.7	3.1

注1) 複数回答。

注2) 各項目の詳細は以下のとおりである。

情報収集：「知りたいことについて、検索するなど、情報収集をしている」

情報交換：「子育て情報を交換している」

情報発信：「自分の活動を発信したり、コメントを書き込んだりしている」

定期閲覧：「情報を定期的に見ている」

グッズ購入：「子育て関連のものを購入している」

地域外仲間：「地域でのつながりとは異なる子育て仲間を作っている」

表3-3-2 スマートフォン・タブレット端末のカメラ機能使用目的（親子比較、2017年）

	保護者	子ども
何らかの記念撮影	89.6	31.2
子どもが制作した絵や作品等の撮影	53.7	14.0
逆上がりのシーンなど子どもの動画	59.8	8.9
何かの動きを観察する動画	不問	11.4
その他	3.3	4.3
使っていない	7.1	57.6

注) 複数回答。

## ●Web サイト・SNS・アプリを上手に使い分け

子育てで実際によく利用する Web サイト・SNS、アプリについて具体的にたずねた。自由記述で挙げられた回答を「ひよこクラブ」2016年1月号の記事「育児に使えるアプリ厳選31」を参考に、以下の5系統にまとめた。「ママ同士交流系」「お助けお世話系」「思い出づくり系」「泣き止みあやし系」「生活充実系」である。

### ・ママ同士交流系

ママ専用 SNS や掲示板にアクセスできる。妊活中の人や妊娠中のプレママや子育てに悩む新米ママが先輩ママに相談できたり、ママ友を探したり、子育てトークが展開されている。例えば、「ママリQ」は匿名のQ&A アプリ、「ウィメンズパーク」は約5000万人が利用する口コミサイト、「ピカママ」はプレママ・新米ママ専用の SNS である。「Instagram」では、「#（ハッシュタグ）月齢」を入力すると関連情報が入手できる。

### ・お助けお世話系

授乳や排泄を記録したり、子どもの発達に関するアドバイスをもらえたり、日々の育児をサポートする。例えば、「まいにちのたまひよ」は、妊娠中から2歳になるまで子どもの成長・発達やママの健康などについて、定期的にアドバイスが届くアプリである。「ベビ☆マ」は、授乳やおむつ替え施設の情報を投稿でき、実際の利用者の口コミ情報もある参加型探索アプリである。「授乳ノート」は、授乳・離乳食・排泄・昼寝の時間を簡単に記録でき、排便のリズムや食事のタイミングを把握できるアプリである。「ラブベビ手帳」は、予防接種スケジュールを自動作成でき事前アラート通知が届く。きょうだいがいる場合は、複数人の管理も可能なアプリである。「クックパッド」は、日本最大のレシピサービスサイトで、離乳食のレシピも満載してい

る。「Yahoo! 知恵袋」は、Yahoo! JAPAN が運営する参加者同士が知識や知恵を教え合う Q&A アプリである。

### ・思い出づくり系

撮りためた子どもの写真や動画をフォトブックやムービーにして保存できる。例えば「TOLOT」は、スマートフォンに保存している写真からフォトブックを制作できる有料アプリである。「Film Story」は、動画や写真をつなげてBGMを加えたムービーが制作できる有料アプリ（お試し版は無料）である。

### ・泣き止みあやし系

夜間や公共の場で泣き止まないときやぐずったときに、落ち着かせるために利用する。「泣きピタ!」は、胎内音や電車音やピアノ音など泣き止ませ効果音や音楽を提供しているアプリである。「いないいないばあ」は、動物たちがいないいないばあをする音声つきの知育絵本アプリである。

### ・生活充実系

生活必需品や育児グッズを購入したり、出品したりし、日々の節約に役立てる。例えば、「メルカリ」は、日本最大級のフリマアプリで、ベビー服や玩具などの出品も多い。「アマゾン」は最大手のインターネット通販サイトで限定地域では急ぎの配達も可能である。

保護者は、上記の目的に沿って、Web サイト・SNS・アプリを使い分けていることがわかった。

※Web サイト・SNS・アプリの名称・情報は変わることがあります。